情報処理安全確保支援士特定講習　講習情報

トレンドマイクロ株式会社

標的型攻撃対応・防御トレーニング５日版

実施機関名	トレンドマイクロ株式会社		
講習名	標的型攻撃対応・防御トレーニング５日版		
特定講習番号	21-003-007		
講習形態	リモート形式又は集合形式	定員（１回あたり）	8 名
受講日数	5 日間	受講時間	35 時間
受講料	475,200（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ監視・運用	関連分野	－
講習内容	標的型攻撃においての攻撃者視点を理解したうえでの防御手法を身につけます。本トレーニングでは最初の3日間で標的型攻撃の各攻撃ステージにおける攻撃者の意図と使用される技術を学習し、残り2日間で攻撃が環境に残す痕跡からの調査手法について、豊富な実機演習を行いながら習得します。また最終日には参加者の研究課題として、侵害されたネットワークを模した仮想環境において侵入方法から被害範囲、流出した情報までを実際に特定する調査を行います。			
具体的な到達目標	標的型攻撃の痕跡について理解し、インシデントの際の侵入方法や被害範囲、流出した情報までを特定する調査について実施可能になる。			
修得できるスキル	標的型攻撃および、その攻撃のステージについて理解する。 各ステージにおける攻撃とその技術・手法を学習し攻撃者の意図を理解する。 攻撃が残す痕跡からの、痕跡調査手法についての習得する。 インシデントの際の、攻撃者の侵入方法から被害範囲、流出した情報までを特定する調査が実施可能になる。			
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	・SOC/CSIRTへの技術者としての従事 ・組織のLANシステムの運用者 ・セキュリティ関連職への技術者としての従事			
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	・Windowsの基本的操作（コマンドライン利用） ・ネットワークとセキュリティの基礎知識 ・CompTIA Security＋ 受講と同レベルの知識			
技術・知識の到達度の把握・測定方法	本研修日程内で実施される、認定テストによる測定			
修了認定の判断基準	認定テスト70%以上の正答(20問中14問以上の正答で合格とする。)			
修了認定基準に満たない受講者への措置	2回の再テストが可能			
受講者に対するサポート体制	専任講師による研修の実施 双方向のコミュニケーション促進による、参加者の理解度を確認しながらの研修運営			
講習実施施設所在地	東京都渋谷区代々木			
ホームページ	https://www.trendmicro.com/ja_jp/business/products/support-services/education/incident-response-course.html			